

2. 景観形成方針の構成

本市の景観には様々な種類の景観があり、それらが複合して深みのある景観的魅力を出している。そのため、景観形成を進めるにあたって、景観を構成する要素の視点から取り組みや配慮を行うことが必要となる。

本計画では、景観形成の目標や基本方針を踏まえ、熱海の特徴的な美しい景観を守っていくとともに、各地域の個性を育てるための具体的な方針として、次の3つの分類により、景観形成の方針を示す。

なお、構造別景観の方針及び眺望景観の保全・活用の方針は、その場所に応じ、類型別景観の方針と併せて活用するものとする。

類型別景観

本市の市街地は、富士箱根伊豆連山の尾根や海によって区切られる5つの領域（泉、伊豆山、熱海、南熱海、初島）によって構成されており、これらはその位置や地形によって景観の特性に違いがあり、それが領域の個性となっている。そのため、本市の景観を5つの景観領域とまちづくり基本計画の土地利用区分による市街地の特性により、11に類型し、それぞれの特性に応じた景観形成を進めることとする。

構造別景観

本市の景観構造を踏まえ、拠点景観や軸景観を強化し、その構造を守っていくこととする。構造別景観には、熱海駅周辺地区や渚・和田浜地区などの「拠点地区」、網代港などの「漁港及びその周辺」、泉地区の果樹園などの「斜面農地及びその周辺」、線の景観は、市の活動軸である国道135号などの「幹線道路・鉄道」、千歳川などの「河川」、「海辺・海岸線」が捉えられる。

眺望景観

市内の特徴的な眺望について、熱海港埋立地などの「市街地内の市民や観光客がよく訪れる場所からの眺望景観」、十国峠などの「自然を中心としたパノラマ景観」、国道135号などの「市内を移動する人からの眺望景観」の3つに分類し、それぞれの眺望景観の保全・活用を図っていくこととする。

図 景観形成方針の構成

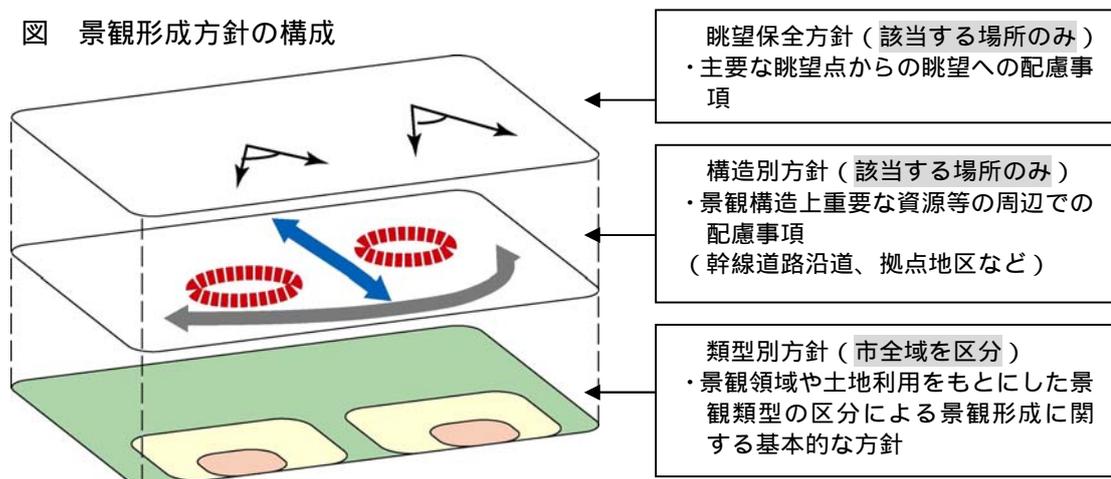


表 類型別景観

景観の類型		まちづくり基本計画の土地利用区分等
山地・丘陵地		「豊かな山地、丘陵地の保全と活用を図るゾーン」、「優良農地の保全を図るゾーン」
泉地区	住宅地 (泉地区)	泉地域の「定住化のための居住環境の確保を図るゾーン」
	観光・商業地 (泉地区)	泉地域の「観光商業関連土地利用の維持と充実を図るゾーン」
伊豆山地区	住宅地 (伊豆山地区)	伊豆山地域の「定住化のための居住環境の確保を図るゾーン」
	観光・商業地 (伊豆山地区)	伊豆山地域の「観光商業関連土地利用の維持と充実を図るゾーン」
	観光・商業地 (伊豆山神社地区)	伊豆山神社地域の「観光商業関連土地利用の維持と充実を図るゾーン」
熱海地区	住宅地 (熱海地区)	熱海1地域、熱海2地域(初島を除く)の「定住化のための居住環境の確保を図るゾーン」
	観光・商業地 (熱海地区)	熱海1地域、熱海2地域(初島を除く)の「観光商業関連土地利用の維持と充実を図るゾーン」
南熱海地区	住宅地 (南熱海地区)	多賀地域、網代地域の「定住化のための居住環境の確保を図るゾーン」
	観光・商業地 (南熱海地区)	多賀地域の「観光商業関連土地利用の維持と充実を図るゾーン」
初島地区		初島全域

表 構造別景観

景観の構造	対象
拠点的地区	熱海駅周辺地区
	渚・和田浜地区
	起雲閣周辺地区
幹線道路・鉄道	国道135号、伊豆スカイライン、熱海ビーチライン、JR東海道本線・東海道新幹線、JR伊東線
河川	千歳川、初川、糸川、和田川、宮川、大川、水神川
海辺・海岸線	海岸線全般
斜面農地及びその周辺	泉、南熱海地区の斜面地の果樹畑
漁港及びその周辺	網代港

表 眺望別景観

眺望景観の種類	視点場
市街地内の市民や観光客がよく訪れる場所からの眺望景観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱海港埋立地 ・ 熱海城前広場 ・ M O A 美術館 ・ 熱海港防波堤 ・ 小山臨海公園
自然を中心としたパノラマ景観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩戸山 ・ 十国峠 ・ 鷹ノ巣山 ・ 玄岳 ・ 朝日山 ・ 林道中野線 ・ 桜の名所散策路 ・ 網代測候所周辺 ・ 頼朝ライン
市内を移動する人からの眺望景観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 135 号 ・ 熱海ビーチライン ・ J R 東海道本線・東海道新幹線 ・ J R 伊東線

図 景観類型による区分

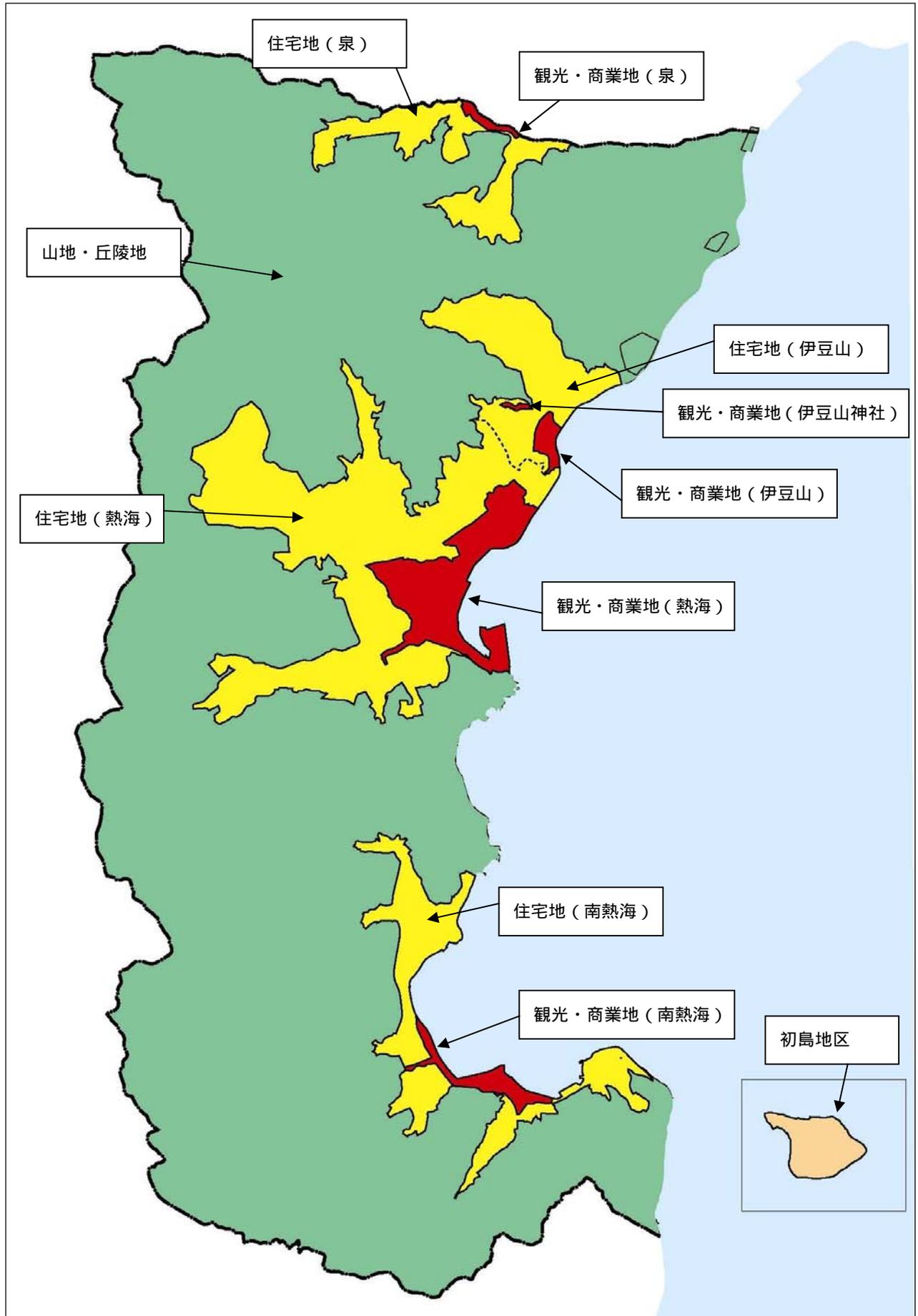


図 拠点的地区の区域

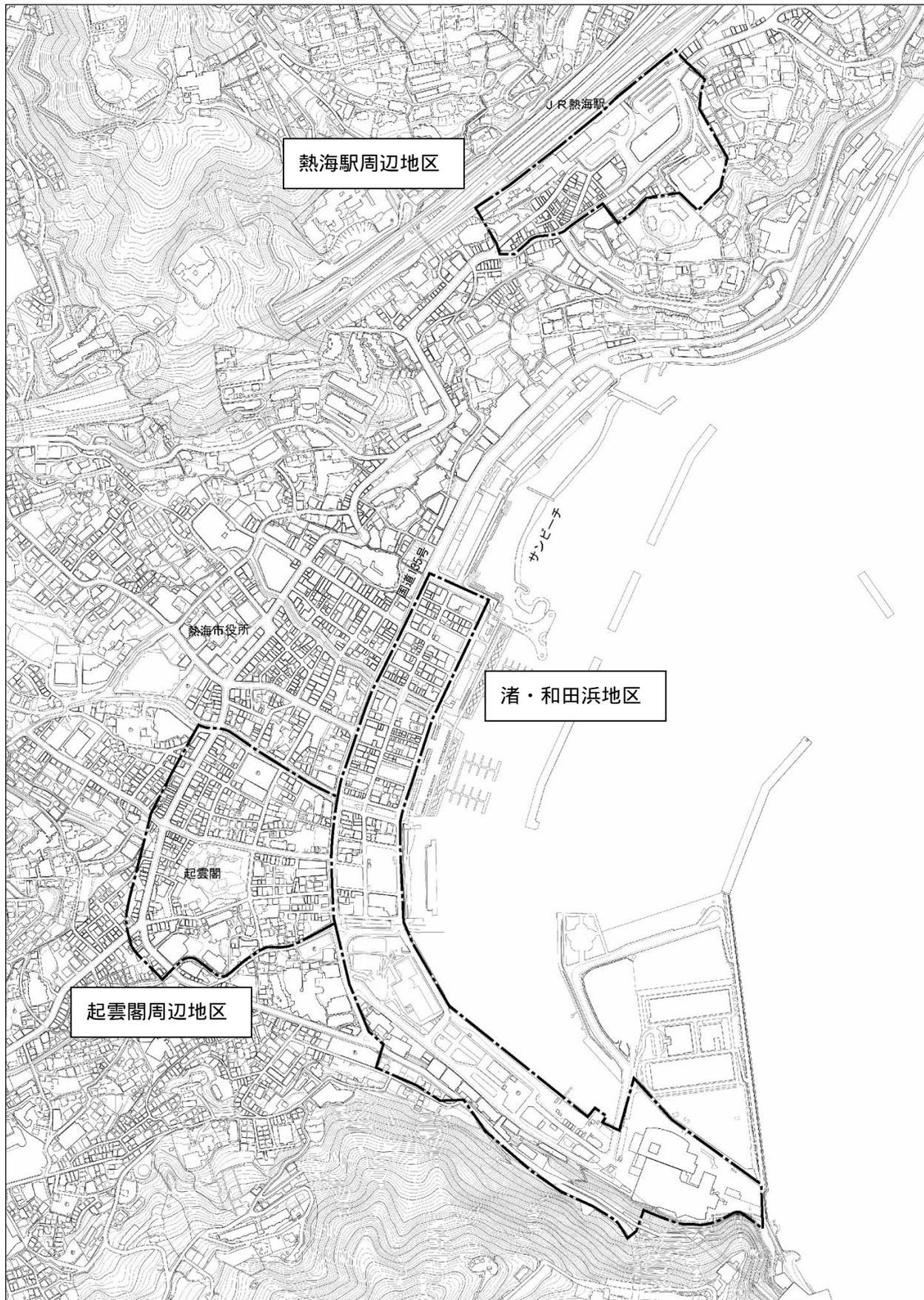


図 主要な視点場

